

総合交通メールマガジン

第48号

平成24年6月29日発行
発行元：国土交通省 総合政策局
秋村参事官室（総合交通体系）

目次

ご挨拶

- ◆参事官（総合交通体系）グループが7月1日より、総務課に移ります

Topics

- ◆【開催報告】第33回総合的交通基盤整備連絡会議を開催しました
 - ・連絡会議における講演等資料のご紹介
 - ・現地視察会、ポスターセッションの様相
 - ・関連イベント（展示・試乗会等）の様相

最近の国の動き

ー東日本大震災関連、道路施策、自動車施策等最近の話題をお伝えしますー

イベント紹介

- ◆【開催予告 11/29, 30】東北新幹線八戸開業10周年記念
「交通まちづくりシンポジウム in 八戸」

参事官室だより

- ◆地域モビリティ確保の知恵袋2012～災害時も考慮した「転ばぬ先の杖」～を都道府県等向けに発送するとともに、当室HPにて公表しました！（本編に加えて、東日本大震災発生後の被災地における地域の足の確保に係る情報を収集整理した「参考資料」も公表しています）
- ◆第45回土木計画学研究発表会に参加しました
- ◆室員紹介（平成24年度第3回 寺西主査）

Information

- ◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！
- ◆地域の取り組み 及び イベント案内 募集！！
- ◆～受付窓口の変更がありましたらご連絡ください～

編集後記





◆参事官（総合交通体系）グループが7月1日より、総務課に移ります。

（総合政策局 参事官（総合交通体系）秋村成一郎）（～6/30）

（総合政策局 総務課 課長 澁谷和久）（7/1～）

（総合政策局 総務課 政策企画官（総合交通体系担当）有田幸司）（7/1～）

国土交通省の組織改正に伴い、7月1日付でこれまで総合政策局で総合交通体系の整備に係る施策を担当しておりました参事官（総合交通体系）グループが、総務課へ移ることになりました。このため、従来の総合交通体系に関する業務は、澁谷総務課長の下、有田政策企画官（総合交通体系担当）が取りまとめることとなります。

組織は変わりますが、これまでと変わらぬ職場（合同庁舎2号館12階）、変わらぬ連絡先となっております。引き続き、総合交通体系の整備を推進して参りますので、更なるご愛顧よろしくお願いたします。

ご挨拶（澁谷総務課長）

この7月より、秋村参事官に替わり総合交通体系を担当することになる総務課長の澁谷です。現在総合政策局では、「持続可能で活力ある国土・地域づくり」に重点的に取り組んでおり、総合交通体系も重要な課題の1つとなっています。また、新しい「社会資本整備重点計画」も今夏の閣議決定を目指しているほか、国会では「交通基本法案」の審議をお願いしています。このように、新しい政策の流れができる中で、引き続きしっかりと総合交通体系の施策を進めて参りますので、皆様のご支援よろしくお願いたします。



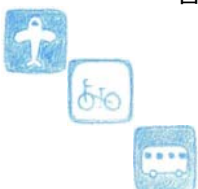
ご挨拶（有田政策企画官（総合交通体系担当））

組織改正により総務課政策企画官（総合交通体系担当）となります有田です。秋村参事官時代と同様、総合交通体系グループとして、現場の情報が第一、また可能な限り客観的なデータに基づくアプローチにより、総合的な交通体系の整備の推進に努めて参りますので、本メルマガの読者におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ご挨拶（秋村参事官）

参事官の秋村です。昨年4月より1年3ヵ月の間、メルマガ読者の皆さまには大変お世話になりました。この間、メルマガのバージョン・アップ（昨年4月と本年4月の2回）などを通して、皆さまに総合交通体系についての様々な話題やイベントを分かりやすくお伝えするよう努めてまいりました。

7月からメルマガの運用を澁谷総務課長と有田政策企画官をお願いすることになります。皆さまの一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。





Topics

◆【開催報告】第33回総合的交通基盤整備連絡会議を開催しました

東日本大震災被災地の郡山市に引き続き2回連続の地方開催となりました第33回総合的交通基盤整備連絡会議は、開催地である兵庫県、姫路市のご担当の方々の多大なるご協力の下、過去最大の190名近くの方々に参加頂き、盛況のもと終了いたしました。関係の皆様及びご出席の皆様のご協力に感謝申し上げます。



共催頂きました姫路市の石見市長様、後援頂きました兵庫県の濱田部長様に冒頭ご挨拶頂き連絡会議の幕が開きました。広島大学大学院藤原教授には「オールド・ニュータウンとモビリティ」という演題で、今後の高齢化社会における重要な視点についてご講演頂き、更に新潟大学大串准教授からは他分野の視点からの合



意形成の重要性のご指摘、JR西日本の金澤様よりJRにおける地域との取り組みについて貴重な講演を頂きました。また、事例発表として、開催地姫路市、東京都、三重県玉城町等規模も取り組みも多様な6自治体の方々に情報提供を頂き、当室をはじめ国の機関からも災害時の地域のモビリティ確保に係る取り組み紹介や交通基本法の状況等情報提供いたしました。

初めての年度前半の開催であり、今後の施策遂行に資するべく、極力多くの情報を各地の方々にお伝えしたく、半日のプログラムで14団体の講演・発表を盛り込みましたが、少し慌ただしくなったことご容赦ください。

連絡会議に参加出来なかった方々、また当メルマガ購読者の方々向けに、当日会議発表資料及びポスターセッションの様様や現地視察会（姫路市ー加西市ー神戸市）の概要、同会場にて開催された関連イベントの様子について、今回以下のとおり情報提供させていただきます。

【当日の報道】<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1206houdou.pdf>

【連絡会議資料】 ※URLをクリック頂くと資料ご覧いただけます。()内はデータ容量

第1部 新年度の情報提供と開催地事例等紹介

◆国土交通省からの報告

- 1) 「当室の最近の取り組み紹介 ～災害時も考慮した「転ばぬ先の杖」～等」

総合政策局 参事官室（総合交通体系）

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/33rennraku1.pdf> (2.2MB)

- 2) 「交通基本法案をめぐる最近の状況」総合政策局 公共交通政策部 参事官室（総合交通）

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/33rennraku2.pdf> (0.6MB)





3) 「都市交通に関する最近の話題」都市局 都市計画課 都市計画調査室

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/33rennraku3.pdf> (2.3MB)

◆基調講演 I

- ・ 「よりよき意思決定のための合意形成 —住民参加時代の

公共の役割—」新潟大学 准教授 大串 葉子氏

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/33rennraku4.pdf> (5.7MB)



◆開催地（近畿）からの報告

- 1) 「「公共交通を中心とした姫路市総合交通計画（総合交通戦略）」の事業実施例」

姫路市 都市局 交通計画室 山本 吉英氏

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/33rennraku5.pdf> (4.1MB)

- 2) 「都市・地域総合交通戦略、地方整備局の取組等」

近畿地方整備局 建政部 都市整備課 課長 吉澤 勇一郎氏

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/33rennraku6.pdf> (1.7MB)

- 3) 「地域公共交通確保維持改善事業、各運輸局の取組等」

近畿運輸局 企画観光部 交通企画課 課長 浪越 祐介氏

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/33rennraku7.pdf> (1.2MB)

ポスターセッション参加団体、実施の様様（第1部と2部の間にて実施）

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/33post.pdf> (0.1MB)

第2部 各地の取り組み ～パーソナルモビリティ（個別交通）から公共交通まで～

◆基調講演 II

- ・ 「オールド・ニュータウンとモビリティ」

広島大学大学院 教授 藤原 章正氏

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/33rennraku8.pdf>

(4.0MB)



◆特別講演

- ・ 「地域との共生をはかる」JR西日本の取り組みと最近の駅周辺開発事例」

西日本旅客鉄道（株）創造本部ターミナル開発グループリーダー 金澤 芳信氏

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/33rennraku9.pdf> (4.9MB)

◆自治体による事例等紹介

- 1) 「群馬県生活交通導入実証検証事業について」

群馬県 県土整備部 交通政策課 地域交通係 橋爪 光明氏





<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/33rennraku10.pdf> (1.0MB)

2) 「都内における駅施設の改良の事例について」

東京都 都市整備局都市基盤部 交通企画課 交通施設担当係 山本 健一氏

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/33rennraku11.pdf> (1.4MB)

3) 「ICT を利活用した安心・元気な町づくり事業」

三重県 玉城町 総務課 課長 林 裕紀 (前生活福祉課長) 氏

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/33rennraku12.pdf> (0.8MB)

4) 「高齢者が利用しやすい移動交通に関する取組について」

広島市 南区役所 市民部 地域起こし推進課 (魅力担当) 主幹 河本 秀明氏
(前健康福祉局 高齢福祉部高齢福祉課)

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/33rennraku13.pdf> (1.5MB)

5) 「九州新幹線全線開業を契機とした県内路線バス網を活用した旅行商品造成システム」

熊本県 商工観光労働部 観光経済交流局 観光課 参事 山田 崇氏

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/33rennraku14.pdf> (2.7MB)

【現地視察会 (姫路市ー加西市ー神戸市) 開催概要】

連絡会議参加者のうち、希望者約40名の方に参加頂き、連絡会議開催地である姫路市の駅周辺整備を皮切りに、加西市の北条鉄道の取り組み、神戸市の阪神淡路大震災を祈念して整備された「人と防災未来センター」、阪神三宮駅における交通結節点整備の現地を視察いたしました。

今回のガイドを務めて頂いた兵庫県のY様より「生の声」を含め開催概要報告をご寄稿頂きました。Y様には、参加者全員を代表して本視察について感謝申し上げます。(＋α 餘部鉄橋も皆様よろしくお願ひします: 詳しくは本文を参照ください)



<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/33shisatu.pdf> (0.5MB)

【次年度に向けて】

皆様からの意見などを踏まえ、今後の検討を進めていきたいと考えております。頂いたご意見を幾つか紹介させていただきます。他、こういった会議にしてほしい等ご要望などありましたら、右記アドレスまでご連絡ください。 → E-mail: soukou@mlit.go.jp

《地方開催について》アンケートを提出頂いた方の8割の方より、地方開催を今後も希望する旨回答を頂きました。アクセス性から東京希望の声もあり、次年度は今後検討いたします。

《年度前半開催について》アンケート頂いた方の9割より、この時期を希望との回答がありま





した。今回ご参加頂け無かった自治体の方々の声などを踏まえ検討いたします。

《発表内容について》事例発表それぞれの時間が短かったことをはじめ、もう少しじっくり議論、詳細を聞きたいとのご要望が多かったと認識しております。今後ともご意見を参考に、皆さんのお役に立てるような内容となるよう検討して参ります。

【関連イベント（展示・試乗会）開催概要】

連絡会議を開催した同会場内にて、民間企業等による展示・試乗会が開かれましたので、合わせてその模様をご紹介します。

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/33kannrenn.pdf> (2. OMB)



最近の国の動き

() 内は情報元の組織です

◆東日本大震災関連 (都市局)

前回のメールマガジンで、復興計画づくりを支援するため、被災状況調査や復興パターンの検討、復興手法の検討等に係る調査結果を情報提供いたしました。復興事業の円滑な実施にむけ、合意形成を図っていくモデル的なプロセス等が整理されています。交通に係る事業、施策推進の上でも「合意形成」は欠かせないものかと思えます。復興事業の推進のみならず交通施策の観点からも参考になるのではないのでしょうか。

http://www.mlit.go.jp/report/press/toshi01_hh_000005.html

◆社会資本整備全般 (総合政策局)

国土交通省では、所管する社会資本整備の5カ年の整備のあり方を定める「社会資本整備重点計画」の策定を進めており、現在素案についてパブリックコメントを実施しております。ご覧頂けると、現在の国土交通省の社会基盤に係る課題認識、重点的に取り組むべきと考えているポイント等把握することが出来るかと思えます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo08_hh_000066.html

◆公共交通施策関連 (大臣官房運輸安全監理官、自動車局、観光庁)

既に、報道等でご存じかと思えますが、「関越自動車道における高速ツアーバス事故を踏まえた公共交通の安全対策強化に係る検討チーム」において、安全確保のための緊急対策等具体的な安全対策について取りまとめたものが決定され、6/11公表されましたのでお知らせします。

http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo10_hh_000030.html

◆道路施策関連 (道路局)

「社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会において、(中略)「今後の道路政策の基本的方向」について、議論を重ねてきたところです。今般、基本政策部会における検討結果を取りまとめましたので、お知らせします。(HP 抜粋)」





中間とりまとめの表紙タイトルは、「道が変わる、道を変える ～ひとを絆ぎ、賢く使い、そして新たな価値を紡ぎ出す～」です、多様な視点の議論が展開されており、今後の都市交通、地域交通を考える上でも有用かと思えます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000266.html

◆自動車施策関連 (都市局、自動車局)

大きく報道されましたので、ご存じ方も多いかと思えます。先日の連絡会議でも話題となりました。「環境対応車(超小型モビリティをはじめとする電気自動車等)を活用したまちづくりの一環として、これまでの実証実験等の成果を踏まえ、超小型モビリティの導入、電気バスの導入及び充電施設の設置に関するガイドラインを作成しました。(HP 抜粋)」

http://www.mlit.go.jp/toshi/crd_gairo_fr_000009.html



イベント等紹介

【開催予告 11/29, 30】東北新幹線八戸開業 10 周年記念 「交通まちづくりシンポジウム in 八戸」

先日、東北新幹線開業 30 周年のニュースが流れておりました。八戸までの開業も 10 年を迎えるなか、標題のシンポジウムの開催が予定されています。詳細は調整中とのことですが、HP 文中「特に、全国の新幹線沿線(着工中や整備計画の地域含む)の皆様、地方鉄道や路線バスなど地域公共交通に関して関心をお持ちの皆様の参加を歓迎いたします。」との想いも込め、早めのご紹介となっております。是非、関係の皆様、またご関心ご興味のある方は、八戸まで足を伸ばして見てはいかがでしょうか。

《開催概要、お問い合わせ先はこちら↓》

<http://www.city.hachinohe.aomori.jp/index.cfm/9,50932,73,239.html>

※ご購入の方々からのイベント情報、耳より情報お待ちしております。また、イベント主催者の方々も、このメーリングリストも広報の場として活用頂ければ幸いです。(情報提供はこちらまで soukou@mlit.go.jp)



参事官室だより

◆地域のモビリティ確保の知恵袋 2012 ～災害時も考慮した「転ばぬ先の杖」～ を都道府県等向けに発送、当室HPにも公表しました!

総合的交通基盤整備連絡会議でも配布させて頂きました、上記タイトルの報告書を、このメールマガジンの発行と合わせて都道府県、政令市等向けに発送致しました。各自治体における検討に活かして頂けると幸いです。合わせて、以下の場所に、電子データも公表してお





ります。本編に加えて、東日本大震災発生後の被災地における地域の足の確保に係る情報を収集整理した「参考資料」も公表していますので、是非ご参考ください。

《知恵袋 2012～災害時も考慮した「転ばぬ先の杖」～はこちらから↓》

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_tk_000037.html

《できましたら「知恵袋 2012」アンケートへのご協力もお願いします↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/anketo2012.doc>

◆第45回土木計画学研究発表会に参加しました

東日本大震災における、災害時の地域の円滑な移動の確保に係る課題を整理し、事前からの取り組み、災害発生後の取り組みの考え方、ノウハウなどを取りまとめた調査について、6/2, 3に京都大学にて開催されました、第45回土木計画学研究発表会にて発表致しました。「知恵袋」に係る討議の結果、当室として発表した論文を以下に紹介致します。今後とも、このような活動を通して、当該報告書の精度向上を目指して参ります。

《主な討議結果及び当室の投稿論文はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1206gakkai.pdf> (6.1MB)

◆室員紹介 平成24年度第3回室員紹介 寺西主査

平成24年度の第3回は、今年度より当室に仲間入りした2名の一人寺西主査です。ICTを活用した歩行者移動支援施策を担当しており、総合的な交通体系のうち最も基礎的な『徒歩』に係る部分を担当しています。

《記事はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1206situinn.pdf>



彼がどちらになるかこれからが楽しみです
(どちらも有名な〇〇賞のトロフィーです)

◆組織改正後も場所は変わりません

7月1日より組織は変わりますが、引き続き場所、連絡先は変わりません。お越しの際には、以下の地図をご参照頂ければと思います。

《地図はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1204itizu.pdf>





Information

◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

総合交通メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえて内容を充実させていきたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなど、どのようなことでも構いませんので、ご意見等頂けると幸いです。様式、送付先については、下記URLをご利用下さい。

URL : <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/iken-merumaga.xls>

引き続き、メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更を申請下さい。なお、変更内容については、以下までお願いします。

E-mail : soukou@mlit.go.jp

◆地域の取り組み 及び イベント案内 募集！！

当室では、情報提供頂いた取り組みをメールマガジンで紹介することにより、各地域でノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取り組みについて情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。更に、イベント案内について、主催者でも結構ですし、耳より情報でも結構です。勉強会や講演会、セミナー等ご紹介頂ければ、当メールマガジンにて案内をさせていただきます。

(情報提供はこちらまで soukou@mlit.go.jp)

【情報提供頂く内容】

- 例えば、
- ・ 低炭素社会の実現に向けモビリティのあり方を見直す取り組み(交通の再編等)
 - ・ 交通の改善により地域活性化を図る取り組み など

※ これまでに、推薦頂いたものも含めて74件の取り組みを紹介させて頂きました。

バックナンバー一覧：

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html

◆受付窓口の変更がありましたらご連絡ください。

人事異動等により、メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更をご連絡願います。なお、他部署でも楽しんで頂けるよう努めて参りますので、引き続きのご購読も歓迎いたします。(連絡先の追加でも結構です)

なお、変更内容については、右記連絡先までお願いします。 E-mail : soukou@mlit.go.jp





編集後記



前号で予告していましたが、連絡会議の様について報告させて頂きました。報告外ですが、会議後の懇親会も、前回の2倍以上の102名の方に参加頂きました。酒どころ兵庫の日本酒（兵庫県は酒米として有名な「山田錦」の産地日本一です）を片手（or 両手）に、参加者の皆様に所属を超えて、距離を超えて、分野を超えて交流頂くことが出来たのではないかと考えています。



この中に秋村参事官と
兵庫県のY幹事さんが隠れています

また、この懇親会のように、連絡会議の段階から、具体の課題、テーマについてざっくばらんかつ密度濃く議論出来る様にしてもらえないか、とのご意見も頂きました。ありがとうございます。

この5/31 連絡会議を皮切りに、土木学会、そしてメルマガと合わせて各自治体への郵送、HPへの公表という形で、昨年度取りまとめて来ました災害時の地域の円滑な移動の確保に係る検討を支援する『知恵袋 2012』をお披露目いたしました。酒蔵の杜氏さんでは無いですが、1年かけて仕込みましたので、皆さんの手にとって頂き、満足頂けるものであればと感じています（残念ながらお酒と違い、酔う事無く逆に「ハッ」と担当者の目を覚ます効能を期待していますが・・・）。

更に、お酒の作り手同様、少しでもよりよいものとするべく、お客様の評価・評判をお聞きできればと考えています。是非、ご覧頂けましたら、アンケートへのご返答等の形で『お声』を頂けると幸いです。

東日本大震災の発生から1年と3ヶ月、約500日が過ぎようとしています。皆様の地域の『災害時の円滑な移動の確保』、薄れぬ危機感とともに、一度この『知恵袋』を活用頂き、ご確認頂ければと感じております。

【おまけ】当室の女性陣が最近出会った「東京の美味しいお菓子」第3弾。今回も場所は東京駅、今年できたばかりの場所です。

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/okashihime3.pdf>

【問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 参事官室（総合交通体系） 野津隆太

※7/1より、総合政策局総務課となります

TEL：03-5253-8111（内線53-113）

FAX：03-5253-1675

E-mail：sokou@mlit.go.jp

URL：<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/index.html>

